

ホット
インフォメーション

HOT INFORMATION

カンガルー の赤ちゃん 誕生

昨年10月23日初めてお母さんのお腹から顔を出したカンガルーの赤ちゃん。その後いつ顔を出すかとヤキモキさせていたが、最近は袋から頻りに顔を出すようになってきた。袋からちょこんと出た顔が愛くるしい。冬期間は寒さのためカンガルーを外に出すことは少ないので、見るのができたら超ラッキー！



ゼニタナゴ の繁殖池

昨年10月14日、塩曳瀉に生息する希少淡水魚ゼニタナゴの保全を目指し、ひょうたん橋すく脇に繁殖池が完成した。ボランティアと共に造った池の中には塩曳瀉から採取したゼニタナゴとドブガイを入れた。今年の春には無事稚魚の誕生なるか！



さよなら 感謝祭

平成18年の開園期間中、最後の日曜日となった11月26日、お客様と動物に対する感謝の気持ちをこめて「2006さよなら感謝祭」を開催。天候にも恵まれ、園内は様々なイベントで終始たくさんのお客様で賑わった。昨年の入園者は3月18日の開園から11月30日まで240,642人と前年より5,000人多く、今年は更なる入園者数の増加を望みたい。



アライグマの じゃぶじゃぶ テラス完成！

名前の由来でもある食べ物を洗う仕草、そんな姿を見てもらおうと新たに「じゃぶじゃぶテラス」を設置した。飼育員からエサをもらおうといそいそとテラスに行き、エサを水で洗ってから食べ始め、無くなるとまた飼育員にエサのおねだりも。冬期開園中でも「アライグマのまんまタイム」で見られるよ！



ヨーロッパ フラミンゴ 来園

新たに多摩動物公園からやって来たヨーロッパフラミンゴ10羽。現在は入院棟で越冬中。園内にも既に13羽のヨーロッパフラミンゴが居るが、いずれも高齢のため繁殖できずにいる。若い個体が入り繁殖が期待される。



ニホンザル の入れ墨

個体識別と健康チェックのため、平成17・18年に産まれた15頭の子猿に入れ墨をして体重測定を行った。暴れる子猿を押さえて、内股と顔に入れ墨をして解放。今回はサルに噛まれる職員もなく無事終了した。



訃報



レッサーパンダ「風」死亡

平成16年に産まれたオスのレッサーパンダ「風」が寝室で事故のため死亡しました。何かの弾みで寝台に付いている階段と壁の間に頭を挟んでしまったようです。「風」は大森山動物園で初めて繁殖したレッサーパンダで、これからの期待していただけに誠に残念でなりません。